

科目名称:	スポーツと健康 (美術学科)	
担当者名:	能 雄司	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>現代は、情報化、少子超高齢社会など社会環境の急激な変化の中にあり、自分が健康であるための知識や努力、方策は、生涯にわたる学習項目である。現代スポーツイベントの集大成ともいえるオリンピックの歴史と問題点を学ぶことは、氾濫するスポーツ情報を正確に分析する能力を養うことになる。また、職場において毎年実施される健康に関する各種のアンケート調査や測定の結果を正確にまとめ分析することは、職場の健康のみならず、社会全体の健康にも寄与することにつながる。その為にも、「基本統計」を理解する事が現代人としての重要な知識と言える。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>初めに配付テキスト「スポーツと健康Q&A」の解答と解説により「現代日本人の健康に関する常識」について、自己の知識度を高める。近代オリンピックの始まりと発展の歴史及び現実的問題点を知り、2020年に開催される「東京オリンピック」を深く理解し楽しむことにつなげる。合計や平均だけにとどまらず比率・標準偏差などの「基本統計」を理解する事で、一年を通してテレビや新聞のみならずインターネット上に溢れる膨大な統計情報を正しく理解し判断できる力を身に付ける。それによって、国際規模のスポーツイベントに関する豊富な情報の正しい理解にもつなげる。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP (1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)	70	15	5	10	100
全学DP (2)					0
全学DP (3)					0
全学DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
毎回の授業への取り組み	毎回真剣な取り組み姿勢が見られ、質問にもはっきり答えた。	真剣な取り組み姿勢を感ずる場面がある。	特別な積極性は見られないが、真面目に取り組んでいる。	時々睡魔に襲われるなど、やや集中力に欠ける。
スポーツ・健康に関する知識欲	自らの健康に多様な方向から関心を示し、理解しようと努力した。	自らの健康面で関心のある事柄に意欲的に理解しようと努力した。	健康面に関する事柄に関して、最低限の知識修得に努めている。	スポーツ・健康の理解に真剣さが感じられず、ほぼ放棄した。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 授業ガイダンス&健康の概念と意義。「健康に関する基本的知識」の理解度をクリッカーで自己診断する	健康・スポーツに関するニュースや情報に関心を持ち気になった情報はメモしておく	40分
第2回 テキスト「スポーツと健康Q&A」の解答と解説①(問1～問15)	前回配付した「スポーツと健康Q&A」テキストをわかる範囲で調べておく	40分
第3回 「スポーツと健康Q&A」の解答と解説②(問16～問30)	「スポーツと健康Q&A」の解答・解説が終わった次のジャンルについて調べておく	40分
第4回 「スポーツと健康Q&A」の解答と解説③⇒これまでの内容で印象に残った項目についてグループディスカッションする	「スポーツと健康Q&A」の解答・解説が終わった次のジャンルについて調べておく	40分
第5回 「近代オリンピック」①組織・本部・開催地決定方法～第5回ストックホルム大会	「2020東京オリンピック」に関する報道や変化、トピックに関心を持ち残しておく。	40分
第6回 「近代オリンピック」②第6回～11回大会 これまでの大会で印象に残ったものをクリッカーで調査する	配付テキスト「近代オリンピックの始まりと歴史」で次の5～6大会を予習しておく。	40分
第7回 「近代オリンピック」③第14回～21回大会⇒これまでの大会で印象に残った事件についてグループディスカッションする	配付テキスト「近代オリンピックの始まりと歴史」で次の5～6大会を予習する。	40分
第8回 「近代オリンピック」④第22回～26回大会 各大会のエピソードと問題点	配付テキスト「近代オリンピックの始まりと歴史」で次の5～7大会を予習する。	40分
第9回 「近代オリンピック」⑤第27回～30回大会 各大会のエピソードと問題点	配付テキスト「近代オリンピックの始まりと歴史」で次の5～8大会を予習する。	40分
第10回 「近代オリンピック」⑥第31回大会 ⇒ 第32回東京大会への課題についてグループディスカッションする	配付テキスト「近代オリンピックの始まりと歴史」で印象に残った大会に印をする。	40分
第11回 「データと基本統計」①▶統計学の基礎概念、▶基本統計量(A. 代表値) 1. 平均値 ⇒確認小テスト	新聞やネットなどで、日頃特に関心のあるデータについて、自分で深く調べてみる。	40分
第12回 「データと基本統計」②▶基本統計量(A. 代表値) 2. 中央値、3. 最頻値、4. 比率 ⇒確認小テスト	配付テキスト「データと基本統計」をじっくり読む予習を通して理解を深めておく。	40分
第13回 「データと基本統計」③▶基本統計量(B. 散布度) 偏差平方和、5. 分散 ⇒確認小テスト	配付テキスト「データと基本統計」をじっくり読む予習を通して理解を深めておく。	40分
第14回 「データと基本統計」④▶基本統計量(B. 散布度) 6. 標準偏差、7. レンジ、8. 変動係数 ⇒確認小テスト	配付テキスト「データと基本統計」をじっくり読む予習を通して理解を深めておく。	40分
第15回 「データと基本統計」⑤▶基準値、偏差値 「演習問題」を学生同士で相談しながら解いてみる ⇒確認小テスト	授業で説明された「データと基本統計」で、弱点があればそれを克服する。	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修として、調べたこと・予習した内容を小レポートにまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業時間内に行なう確認小テスト15%、レポート提出5%、授業に対する取り組み方(貢献・積極的関与、発表)10%で評価する。

課題に対してのフィードバック

授業内で実施した確認小テストは解答し、評価した後に返却して解説する。

教科書・参考書

各ジャンルごとにプリントを配付する。